

# SPORTS NEWS

2017年  
3月13日号

## 稀勢の里関、白星発進



雲電型で土俵入りする稀勢の里関

## 大相撲春場所

### 19年ぶりの日本出身横綱

大相撲春場所初日は3月12日、エディオンアリーナ大阪で行われ、日本出身では19年ぶりの新横綱の稀勢の里関が豪風関を押し出し、白星発進した。

4横綱の土俵入りでは、稀勢の里関が最後に登場。「待ってました！日本一！」とひととき大きな歓声を浴びた。慣れない土俵入りと賜杯返還式など、未経験の流れの中でも、稀勢の里関のペースは乱れなかった。取組では、危なげない手順で圧倒。今後に向けては、「しっかり自分の相撲を信じてやるだけ。またあした、しっかり集中して」と、決意を示した。



稀勢の里関(右)は豪風関を押し出して下す

## 侍ジャパン、3連勝で2次リーグへ

### 第4回ワールド・ベースボール・クラシック



オランダ戦の2回、三塁線を破る二塁打を放つ中田選手 (EPA = 時事)

野球の国・地域別対抗戦、第4回ワールド・ベースボール・クラシック1次リーグB組は3月10日、東京ドームで行われ、2大会ぶり3度目の優勝を狙う日本代表「侍ジャパン」が中国を7-1で下し、3戦全勝の1位で2次リーグに進んだ。7日の初戦ではキューバに11-6で勝った。8日のオーストラリア戦は、4-1で逆転勝ち。

12日の2次リーグE組初戦、オランダ戦は延長11回タイブレーク(無死一、二塁から攻撃を始める)の末8-6で競り勝った。中田翔選手(日本ハム)が3試合連続本塁打を放った。



オランダに勝利し、喜ぶ中田選手(中央)ら日本代表ライン

## カズ選手、50歳でゴール

### 最年長記録更新、歓喜のダンス



ゴールを決め、「カズダンス」で喜ぶ三浦選手

サッカーのJリーグ2部、横浜FCの元日本代表FW三浦知良選手が3月12日、横浜市のニッパツ三ツ沢球技場で行われたガスパクサツ群馬戦の前半40分にゴールを決め、自身の持つJリーグ最年長得点記録を50歳14日に更新した。味方のシュートのこぼれ球を左足で決め、歓喜の「カズダンス」を披露。スタジアムは沸いた。

2月26日の今季開幕戦、松本山雅戦では、Jリーグで史上初めて50歳で出場。その日は自身の誕生日で、試合後はバースデーケーキと赤いバラの花束をプレゼントされた。節目のゴールに、カズ選手は「毎日どういう練習ができているか。そういうことの方が大切。ゴールはその結果」と、まだまだ上を目指す考えを示した。



花束を手にする三浦選手 (AFP = 時事)

## 男子は松田選手、女子は山田選手が優勝

### アーチェリー全日本室内 小中学生男女



弓を引く優勝の松田選手

アーチェリー全日本室内選手権最終日は3月12日、北海道の北海きたえーるで行われ、小中学生リカーブ男子で東京・駒場東邦中の松田光太郎選手、同女子では京都・同志社女子中の山田愛選手が優勝した。

リカーブ男子は、野村翼選手(早稲田大)が優勝。アテネ五輪銀メダルの54歳、山本博選手(日本体育大教員)とロンドン五輪銀メダルの古川高晴選手(近畿大職員)はともに9位だった。



決勝で集中して的確を見る優勝の山田選手

## オリンピック・パラリンピック通信

### パラリンピック競技 射撃



リオ大会の瀬賀選手  
Photo by Tokyo 2020 / Shugo TAKEMI

パラリンピックの射撃は、制限時間内に決められた数の弾を撃ち、標的に当たった弾の合計点を競う。空気銃(エア)や装薬銃、的までの距離、射撃の姿勢で種目が分かっている。射撃の姿勢には、立って撃つ「立射」、うつ伏せで撃つ「伏射」、片膝立ちで撃つ「膝射」がある。障がいの状況により、車いすやいすの使用などが許される。満点を狙うには、例えば、標的までの距離が10メートルのエアライフル種目で

は、標的の中心にある直径わずか0.5ミリメートルのマークに命中させなければならない。一つのミスが命取りとなるため、高い集中力を長時間保つための体力と精神力が不可欠である。トップレベルになると、呼吸や心拍数のコントロールが必要とも言われている。

2016年のリオデジャネイロパラリンピックでは、瀬賀亜希子選手が3度目のパラリンピック出場を果たした。

